

わんにゃん通信 39



いつの間にか、夕方暗くなるのが早くなってきました。



冬に近づいてるんだなあ・・・。としみじみ感じます。

まあ、冬の前にまずは秋！皆さん、秋と言えば？

食べ物の秋！スポーツの秋！読書の秋！

私は断然、食べ物の秋です

そして、唐津の秋で忘れちゃいけないのが、

もちろん『唐津くんち』ですよね？

くんちが来なきゃ、秋が来た感じがしません。

これからどんどん、寒くなってきます。

体調には気を付けていきましょう。



ちょっと、犬の口の中を見てみよう！！



口を開けると、上顎の内側には、洗濯板のような硬い硬口蓋があり、硬口蓋に続き軟口蓋があります。

下顎には舌があり、表面には乳頭が存在します。

犬の舌は、血管分布が豊富なため、放熱器官としても重要です。

飲水の時、犬・猫では、舌を使って水を曲げた舌の上にのせて口に運びますが、他の動物では吸い込みます。



味覚



味覚は、舌の表面にある、つぼみの形をした味蕾とよばれる構造で受容されます。

味蕾の数は、動物種によって大きく異なります。

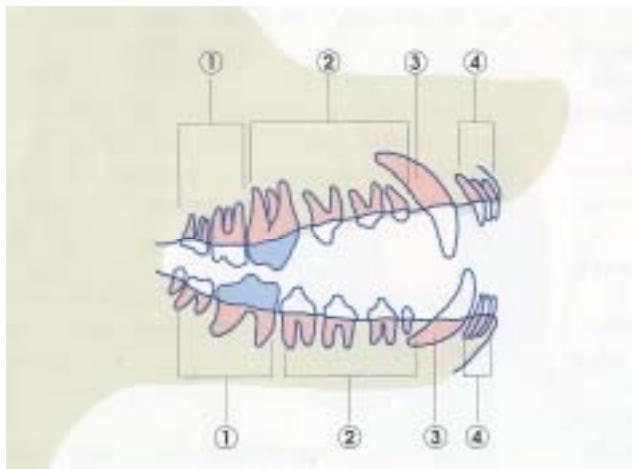
犬では、砂糖に反応する味蕾の数が、もっとも多く、これが犬が甘いものを好む理由です。

雑食性の犬では、果物などに含まれる消化のよいエネルギー源である、糖や他の甘味物質を感知する優れた能力をもっています。



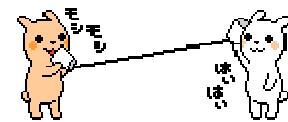
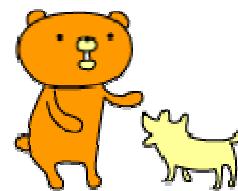
歯

犬の顔を片側から見ると



こんな風になっています。

反対側にも対称に歯が生えています。



永久歯

上顎 2本 下顎 3本

前臼歯 4本 4本

犬歯 1本 1本

切歯 3本 3本

乳歯

上顎 3本 下顎 3本

前臼歯 3本 3本

犬歯 1本 1本

切歯 3本 3本

左右対称に生えているので

永久歯計 42 本

乳歯計 28 本

後臼歯

食物をすりつぶすなどの役割をせています。

食物をすりつぶす必要のある雑食性や草食性の動物ほど発達しています。



前臼歯

やや狭い間隔で、デコボコした列を形づくっています。

このデコボコが食物をがっちりつかむのに都合がよく、一度つかんだものを簡単には離しません。

犬歯

犬で特に発達していて、ものをしっかりとくわえる、引き裂くのに使われますが、

攻撃にも不可欠です。



切歯

食物を口に入れる前に、とらえる、咬み切る働きがあります。

他にも、ものをかじったり、毛づくろいをするのにも使われます。



口腔内トラブルを早期発見しよう！！

口腔内のトラブルがあると、痛みがあったり、口の中に違和感を感じて食餌をとりにくくなったりします。そこで、口腔内のトラブルに早期に気付くには、犬の行動・仕草に注意する必要があります。

前肢で口の周りを気にしている

よだれが多い

柔らかいものしか食べなくなったり

口を触られるのを嫌がる

口臭がある

片方の歯で、ものを噛んでいるようだ

食欲がありそうだが、食べられない

食事中に突然、奇声を上げる

頬や顎が腫れているか、穴が開いている

口を床や地面にこすり付けている

こういった、何気ない仕草が、**サイン**になってます。

よく観察し、早く気付いてあげましょう

